

昔からずっと、これからも。トクして学ぶ、エコマガジン。

えこっとOSAKA

ちょこっとえーごと

大阪府地球温暖化防止活動推進センター
情報誌

2011
春
vol. 29

特集
ストップ温暖化大賞

低炭素杯2011—低炭素地域づくり全国フォーラム

Report



大阪府のエコアクションキャラクター
「モットちゃん(イヌ)」「キットちゃん(サル)」です。
イベントなどで、環境にやさしい行動(エコアクション)を促しています。

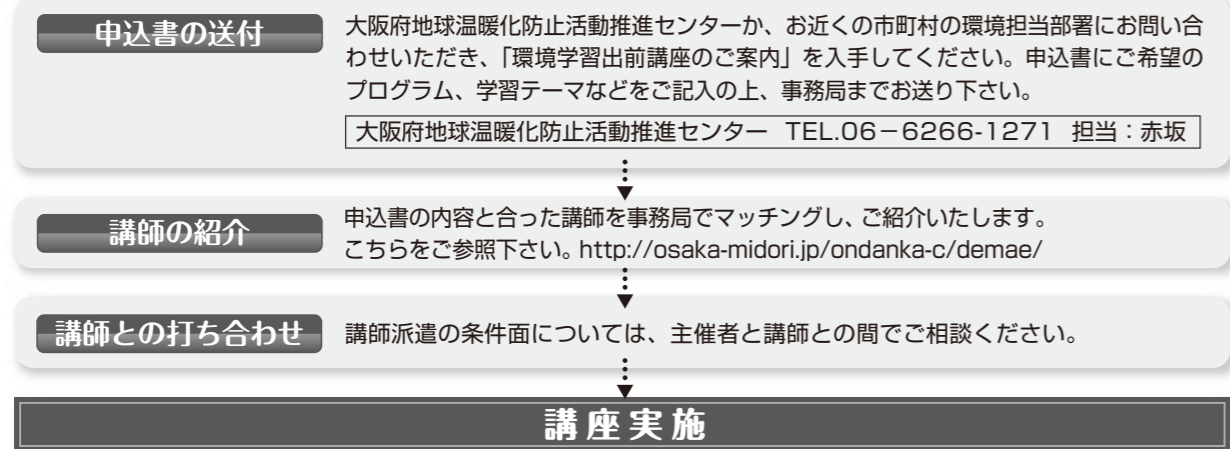
◆大阪府地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

●大阪府地球温暖化防止活動推進員●

環境学習出前講座のご案内

大阪府地球温暖化防止活動推進センターでは、温暖化問題に関する地域の多様なニーズにこたえるため、大阪府地球温暖化防止活動推進員を出前講師として派遣しております。学校の授業や地域での学習会、市町村が実施する啓発事業等にご活用下さい。

○出前講師派遣の流れ○



えこっとOSAKA 2011 春号 vol.29

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人大阪府みどり公社
TEL 06-6399-9550 FAX 06-6399-9550 http://osaka-midori.jp/

編集協力・印刷／株式会社ウィルハーツ
〒592-0004 大阪市淀川区西宮原2-2-17 新大阪センタービル200号街
TEL 06-6399-9500 FAX 06-6399-9500

FAX

アンケートにぜひお答えください。抽選で下記商品をプレゼントします!

Q1 どこで「えこっとOSAKA」を手に取りましたか?

Q2 今後取り上げて欲しい内容を教えてください

Q3 本誌を読んで環境に対する考え方に変わった事がありますか?

住所

氏名 男・女 年齢 才 TEL

ご応募はファックス、またはメールで
締切り●平成23年4月29日(祝・金)まで

FAX.06-6399-9550 または **E-mail:ecotto@w-hearts.jp**

○当選者発表は商品の発送をもってかえさせていただきます
○お答えいただいた内容や個人情報は、「えこっとOSAKA」の誌面制作の目的以外に一切使用いたしません

Present!

3名様



備長炭より優れたもの!
竹炭をプレゼント!

●500g、袋詰め

提供:大阪府立佐野工科高等学校

竹炭の塩素吸着力は備長炭より優れています。佐野工科高校で製造された竹炭を、アンケートにお答えいただいた方から抽選で3名にプレゼントします。

消臭力に優れているので下駄箱に入れてカビ臭消しに。湿気吸取力も優れているので、水回りの脱臭剤としてもおすすめです。砕いて菜園用土に混ぜると、土の養分が増して、作物の生育が良くなります。

民間団体の環境活動に対し、上限30万円の補助をする制度です!!

平成23年度 大阪府 環境保全活動補助事業を募集します

募集内容のご案内

大阪府では、府内で活動している民間団体の環境保全活動を支援することを目的に、

- 1.地球温暖化防止活動や環境美化活動などの実践活動
- 2.環境イベントや出前講座、講演会などの環境啓発活動
- 3.環境問題に関する調査研究活動

のうち、その内容が先進的で他の模範となる環境保全活動に対し、補助対象経費の一部を補助しています。

※ 申請内容をもとに、審査会の審査により補助団体を決定します。

募集期間 平成23年5月13日まで

補助金額 補助対象経費の2分の1以内で、上限30万円、下限10万円の範囲

補助対象となる経費 謝金、旅費、消耗品等の購入費、印刷費、郵送費、運搬費、使用料及び賃借料です。ただし、飲食費や運営費等は除かれます。

応募方法 補助を受けようとする団体は、申請様式を入手し、必要事項を記入の上で提出ください。

補助対象となる団体の詳細、そのほか詳しくはこちら ▶ <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

申請様式を入手先・問い合わせ先

申請様式は、下記のホームページからダウンロードするか、問い合わせ先までご請求ください。

入手先 <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html> **大阪府環境保全活動補助金**

問い合わせ先 大阪府環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課 環境活動推進グループ
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲州庁舎22階
TEL 06-6210-9549 FAX 06-6210-9551

「えこっとOSAKA」を購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期(4号:年4回発行)送付分の切手、120円分4枚をご用意いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分を送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター お近くの市町村(環境担当部署)、消費者生活センター、府立図書館、府民情報プラザなども配布しております。

えこっとOSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーごと(良いこと:やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を変えた意味を込めています。

100

PRINTED WITH SOY INK

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ストップ 温暖化大賞 低炭素杯2011 - 低炭素地域づくり全国フォーラム

Report

主催 低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員

受賞団体の取り組み紹介

低炭素杯（低炭素地域づくり全国フォーラム）が本年2月5日（土）、6日（日）に東京大学・安田講堂をメイン会場として行われました。

地球温暖化の主要な原因である大気中の二酸化炭素を削減した「低炭素社会」を築くために、全国各都道府県でさまざまな温暖化対策に取り組む47団体が集まって活動内容を発表し、交流しました。

取組みを特に評価され、環境大臣賞を受賞したのは次の4団体です。

- 環境大臣賞 グランプリ
・環境NPOオフィス町内会（東京都）
- 準グランプリ（3団体）
・京都府立桂高校
T A F F「地球を守る新技術の開発」班（京都府）
・大分県立日田林工高等学校 林産クラブ（大分県）
・出水市六月田下自治会（鹿児島県）

グランプリ

環境NPOオフィス町内会

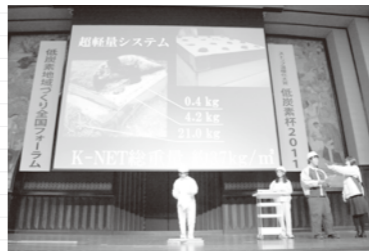
「森の町内会」活動（東京都）

サポーター

ター企業に使用してもらった「間伐材」を印刷用紙として使用してもらい、紙代に上乘

関西のサポーター 23社・団体

旭硝子 大阪ガス 岡山県西粟倉村 関西電力
京都工場保健会 KDDI サラヤ シスメックス
住友ゴム工業 住友電気工業 千趣会 タツタ電線
ダイキン工業 ダイハツ労連 中国電力 ナカバヤシ
日本紙通商 ハート 村田製作所 ユーエム工業
ワコールホールディングス
(略称・50音順、ほかに2社が社名公表手続中)



都市温暖化防止には、建物の屋上緑化が効果的です。しかし建物荷重の問題、帰化植物の問題や水消費の問題は普遍的な大きな障害となっています。研究班で開発した緑化システムは、ノシバの特性を最大限に引き出し、土壌を不要とし軽量(37kg/m²)化を実現、さらに通常の1/2の水使用量ですむ画期的なシステムです。そして各地域に自生するノシバを利用できる技術を開発し外来種問題も解決しました。このシステム



地域や竹産業界、研究機関、企業と連携を持ちながら、学校から技術情報を発信し、地域の活性化に取り組んできました。

準グランプリ

鹿児島県出水市六月田下自治会

(鹿児島県)

平成18年4月から集落全世帯でCO₂の削減活動に取り組みんでいます。



データをもとに、CO₂発生量と光熱費を捉え、目標に対し省エネ活動の結果がどうだったか、各家庭と集落全体で評価できるシステムを運営しています。国が進める低炭素社会づくりを、集落全世帯で目指す活動です。

受賞した4団体は、長年にわたり取組みを継続することで、CO₂の削減効果など、それぞれに具体的な成果を挙げておられました。みなさんの取組みがますます発展することを祈ります！

「なにわのSTOP!!温暖化大作戦」最優秀賞

大阪府立佐野工科高等学校自動車部

・健闘!

大阪代表として全国大会に出場した、大阪府立佐野工科高等学校自動車部の取組みも受賞に値するものですが、実績の面で後塵を拝した観がありました。

今回は惜しくも受賞はなりませんでしたが、これからも自信を持って取組みを継続して欲しいと思います。

『低炭素杯』に参加して

坂本大地

今回参加させていただいた中で最も僕が感じた事は「各地域でこんなにも多種多様な事をやっているのだな」ということでした。特に、福井県の団体が発表した、竹の間伐材を使った床材には感動さえ覚えました。里山で今深刻な問題になっている竹林被害を解決するのに、こんな方法もあるんだなと、会場で感心したことを覚えています。

環境改善にはまだまだ課題もありま

すが、今回の参加団体のように、自分達と違った方法であれ、環境保全という同じ志を持つもの同士が協力し合って低炭素作りに励んでいければいいなと思います。最後になりましたが、このような素敵な催しに参加できた事に誇りを感じるとともに、参加するに当たってご協力頂いた各関係者様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

低炭素杯のプレゼンテーションと分科会に参加して

山田啓二先生

経済活動の発展が環境問題を引き起こした原因であることは明白である。開発環境破壊という時代から脱却し、開発と環境保全が同じベクトルで考えられる時代であることを実感させられる。当然ながら地域の活性化には、産業振興と環境保全活動が融合されながら発展していくことが期待される。

分科会はバズセッション形式で行われ、私の参加したグループは秋田県、岐阜県、熊本県、愛知県、大阪府から参加

されていた。活動地域が多様なら活動内容も多様で、グループで提言をまとめるのは無理なことだったが、前日の発表で不明瞭だった点の質疑応答が活発にされた。

テーマに対して議論を尽くすことはできなかったが、それぞれのアイデアや努力を知ったことが、今後の活動の糧になると感じている。生徒たちも、大阪大会から全国大会を目標として、得意なプレゼンテーションの練習をすることができ、大変良い経験をしたと思う。

このような機会を与えてくださった大阪府みどり公社様をはじめ、関係各位の皆様には大変感謝しております。

低炭素杯後は、秋田県のバイオディーゼルを製造販売している企業から、廃油発電機の間合わせがあった。また、福井県の社団法人から本校の授産施設を運営するNPO法人からは移動式高速炭化炉の見積もりを依頼されている。

「低炭素杯2011」大阪代表 大阪府立佐野工科高校 自動車部
顧問 山田 啓次 先生 インタビュー

エコロジーとエコバターの両立を目指して



今号のエコパーソン

山田 啓次先生
大阪府立佐野工科高校自動車部 顧問

人の心理面を大切にしながら
もの作りをしたい。

「低炭素杯2011」で大阪代表として出場された大阪府立佐野工科高校自動車部。その舞台で発表された「移動式炭化炉」以外にも、「蒸気発電自動車」が日本産業技術教育学会主催のエネルギー利用技術作品コンテストで4年連続の文部科学大臣賞を受賞するなど、もの作りの技術が高く評価されている高校です。

今回は、同校自動車部で指導をされている山田啓次先生にお話を伺いました。

……

——たくさん製品開発されていますが、今は何を作っていますか？

池田市の府立園芸高校から

依頼されて、植物からアロマ成分を抽出する機械を作っています。安価で生産効率のいいものを箕面の特産品として商品化する試みで、原料は園芸高校に生息するヒノキ、ユーカリ、箕面特産のゆず。いずれも剪定や搾汁後の廃棄されるものです。

香りは人間の心理に大きく作用すると言われていて、たとえば集中力を高め作業効率を上げる、落ち込んだ気持ちを上向きにする、といった効果があります。僕は、現代のもの作りで重視すべきなのは人の心理面だと思っています。農業にしても環境活動にしても、それをする事で人間が五感から



写真は卓上植物育成装置「卓上菜園」。4人家族で、1日1人2枚食べられる量が収穫できる。販売価格は市場の4分の1で苗から育て、収穫する過程では、買物では働かない触角や嗅覚が働く。

受け取る情報の豊かさを重視して発想すれば、人手や資金の不足を打破できるくらいの可能性があると感じています。

エコロジーを推進するためには必要な条件は、2つあると思います。ひとつは、心理的豊か

さを追求すること。もうひとつはエコロジーとエコノミーを両立させるにはどうすればいいのでしょうか？

端的に、環境に良く、たくさんの方が購入可能な単価のものを作ること。これはあちこちで言われていますが、なかなか実現していません。それほど難しいことだと思います。

今開発している「泉州竹炭」商品化の背景は、近年の竹の異常繁殖です。竹がヒノキや杉を枯らし、里山の環境バランスを崩しています。ただ、竹を炭にするには丸2日焼かないといけません。焼く技術の熟練も必

要で、収炭率は炉に入れた竹の量に対して3割程度、慣れていない人なら1割程度でしょう。それで単価が上がってしまいます。

今回の低炭素杯に出品した「移動式高速炭化炉」で生徒たちが苦心した点ですが、これは短時間で焼くことができ、単価を大幅に下げることができま

す。床下に入れるとCO2のもととなる炭素を炭として固定化するので、大気中のCO2削減になります。土壌改良剤や家屋の材料として、企業間取引排出権取引、グリーンマイレージ等の制度を利用して企業に購入してもらつこともできます。

——もうひとつの条件、心理的豊かさはどのようにして追求できるでしょうか？

一言で答えられない問いですが……端的には、自然に対す

る論理的思考能力、推測能力の備わった感性を取り戻すことだと思います。

家電がない時代には、人は朝飯が終わったらすぐ昼飯の準備にかなければなりません。水汲み、火をおこして料理をし、陽の高いうちに手で洗濯をして干し、薪を割って夜には焚いてお風呂を沸かす。つまり衣食住の準備と実践だけで1日が終わっていたのです。

自然に合わせた昔の生活様式を「スローライフ」というようですが、決してゆっくり暮らしていたわけではなく、常に急いで家事を終わらせ、余暇の間もなく、現代より文字通り「日々の暮らし」に追われていたのです。

その中で人は、未然に災害を防ぐために推論を立てる必要が

ありました。お天道様の動きを読まなければ、家事が進まなかったからです。結果的に、人々の論理的思考力の水準は現代より高かったと思います。

機械化が進んだことで人間社会は、より忙しくなりました。この認識がありますが、それは明らかに間違いです。機械化によって人間は労働から解放され、自由時間が増えたはず

です。しかし、教育現場にいて思うのですが、現代人は自由な時間が増える一方で、思考力と感性は落ちてきているのかもしれない。自由な時間が空虚になり、それを埋めるために慌しく過ごしているのかもしれない。そういう生活は要らないと感じた人が、余暇を自然と接する環境活動に充て、推進していくのではないのでしょうか。

教え子たちを見ていても、彼

らが目を輝かせるのは、生活する上で必要な科学的推論と問題解決能力を鍛えられるときなんだ、と気付かされます。

古民家を使つての体験学習



山里の古民家で教員や教員志望の学生を対象に一昔前の生活体験学習をしている。推測能力の備わった感性を養う、ひとつの試みである。

うちエコ診断 診断員として

大阪府地球温暖化防止活動推進員 末広 晃久 氏

私は環境経営に関連した仕事を営んでいますが、その中で日本国内のCO₂の排出量削減が、家庭部門においてなかなか進んでいない現状を知り、その大きな原因が、個人に悪気はないが意識ができていないことにある、と感じていました。そんな折、大阪府の推進員として他の活動をしている際、センターの方からこの「うちエコ診断員」のご紹介を受け、お役に立てるのであればと応募しました。

これまで何軒か診断させていただきましたが、診断を受けられる方は比較的環境意識の高い方々が多く、意識の面では十分理解があります。その上で、更なる具体的な対策について、以下の様なご質問を受けました。

- ・エコ家電購入の際の注意点や費用対効果
- ・エアコンはどの様なものを入れたら良いか
- ・「給湯」「自家発電」等の対策は電気中心とガス中心のどちらが良いか

「太陽光発電」「太陽熱利用」どちらが良いか など これらの問題は生活に直結しており重要なもので、診断する側も幅広いテクニカルな知識が必要なので、今後の課題と言えます。また、お金をかけない取組みや、「見える化」についての提案も行いました。

- ・お客様の部屋でコンセントにエコメータをつけ、お小遣いと連動させる
 - ・夏場の冷房と部屋（建物全体）の風通しとの比較
 - ・暖房時の室内の還流 など
- うちエコ診断の結果や取組みが、各家庭にとって負担にならないように、日々の生活の中で自然に意識できるようなアドバイスを心掛けています。

大阪府ではまだ始まったばかりの取組みですが、環境意識の向上が、温暖化防止対策にも家庭の家計にも貢献される様に、センターの方々と共にこの取組みを育てていこうと思っています。

推進員の活動報告



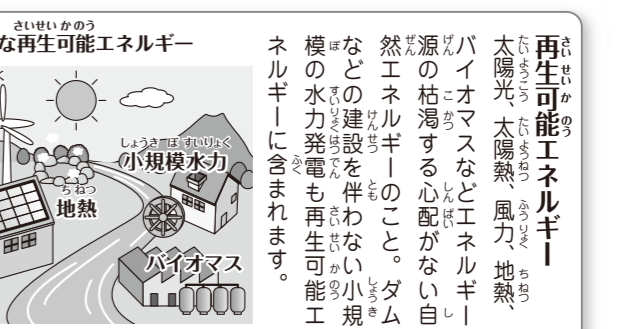
再生可能エネルギーとは？



江古川博士の「エコ入門」

博士 最近屋根に黒い板を付けたおうちを見かけるけど、あれはなんなの？
 ああ、ソーラーパネルのことだね。あれは太陽電池とよばれる電池をパネル状にならべたものなんだ。太陽の光をうけて電気を起こす仕組みになっている。できた電気はおうちの中で蛍光灯やエアコンに使われているよ。

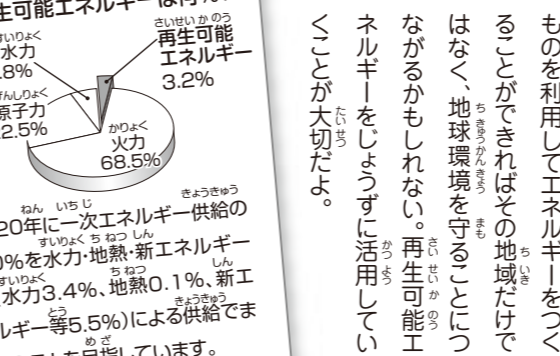
あるあるー！
 発電のもとになるのは太陽の光だから、石油などと同じく、お日さまがなくなると限りなく利用することができないよね。こういった自然にあるものを利用して、くりかえし使っても減ることがない、または使っても元にもどすことができるエネルギーのことを再生可能エネルギーとよんでいるよ。



再生可能エネルギー
 太陽光、太陽熱、風力、地熱、バイオマスなどエネルギー源の枯渇する心配がない自然エネルギーのこと。ダムなどの建設を伴わない小規模の水力発電も再生可能エネルギーに含まれます。

あ、ソーラーパネルのことだね。あれは太陽電池とよばれる電池をパネル状にならべたものなんだ。太陽の光をうけて電気を起こす仕組みになっている。できた電気はおうちの中で蛍光灯やエアコンに使われているよ。
カン太くんは太陽光発電とへえー
カン太くんは太陽光発電とへえー
カン太くんは太陽光発電とへえー

あ、ソーラーパネルのことだね。あれは太陽電池とよばれる電池をパネル状にならべたものなんだ。太陽の光をうけて電気を起こす仕組みになっている。できた電気はおうちの中で蛍光灯やエアコンに使われているよ。
あ、ソーラーパネルのことだね。あれは太陽電池とよばれる電池をパネル状にならべたものなんだ。太陽の光をうけて電気を起こす仕組みになっている。できた電気はおうちの中で蛍光灯やエアコンに使われているよ。



【参考】全国地球温暖化防止活動推進センター URL: <http://www.jccca.org/>
 ジャパン・フォー・サステナビリティ URL: <http://www.japanfs.org/>

▶ 社団法人アジア協会アジア友の会 (JAFS) のイベント情報

アウトドア・エコキャンプ

入門！青空キャンプ

4月24日に日帰り、5月14日～15日に1泊2日でキャンプを行います。今回は、「入門！青空キャンプ」と題して、アウトドアが初めての方でも、楽しみながら野外での自炊やクラフトなどを行うプログラムです。

	① 日帰りDAYキャンプ	② 1泊2日キャンプ
日程	2011年4月24日(日)※ 締切：4月15日	2011年5月14日(土)～5月15日(日)※ 締切：5月6日
場所	阪急梅田駅集合・解散 吹田市青少年野外活動センター	JR京橋駅前集合・解散 大東市立青少年野外活動センター
内容	野外炊さん 竹のカップと鳥の音がする (イタリアンパスタ) パードコールクラフト、 スープ) アイスブレイクゲーム 手作り棒パンなど	野外炊さん お楽しみクラフト (焚き火を囲んできたんぼ) ハイキング、ロープワーク (手作り棒バーグ) ナイトハイク ピザ窯で手作りピザなど) アイスブレイクゲーム ロッジハウス泊
参加費	2,000円 (昼食費・プログラム材料費・集合から解散までの交通費含む)	5,000円 (宿泊・3食費・プログラム材料費・集合から解散までの交通費含む)

募集 18歳以上の男女 (各回20名限定)
 アウトドア初めての学生も大歓迎！
 ※回毎の参加も可能

お申込 社団法人アジア協会アジア友の会 (国際グリーンスカウト担当：松井)
 TEL. 06-6444-0587まで (先着順)

社団法人アジア協会アジア友の会 Japan Asian Association & Asian Friendship Society (JAFS)
 アジアの人々のネットワークによる国際民間協力団体 (NGO: Non Governmental Organization) です。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979年に活動がスタートしました。安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を、アジア18カ国で行っています。